

## EDGE-NEXT（東京大学）プログラム説明

### ◆基礎&チーム形成編（7月～8月）

4 大学の学生、研究者、国立研究所の研究者、事業企画者、企業の「研究開発者」「事業開発者」が集まり、自らの特技（例えば、研究成果、プログラミング技術、試作の技、豊富なアイデア、コミュニケーション力など）と手掛けたい事業案を参加者にアピールし、合宿を通じてチームを自ら作り、各メンバーの役割とリーダーを決める。

- ・チームメンバーの中には、その事業の主軸となる研究成果を提供できるメンバーを少なくとも1名は入れる。
- ・出来たチームで狙う事業領域の課題を深掘し、その解決に向けては初期事業化構想をまとめる。
- ・その構想をビジネスの指南役となるメンターへ発表し、チーム毎の担当メンターを決める。
- ・募集人数：80～100名（定員になり次第締め切り）

### ◆発展編（9月～翌2月）

上記で形成したチームごとに、研究成果を基にビジネス専門家（メンター）による事業化構想立案の個別指導を行い、まとめた事業化構想案を発表する（中間発表 国内最終発表）。

国内最終発表での審査結果と内容から、特に優れたチームを選抜し、シリコンバレーおよびサンディエゴで海外研修を行う。（海外投資家の前で英語により事業化構想を発表）

※選抜されたチームメンバーのチームへの貢献度によって渡米するメンバーが決定する。

### ◆実践編（通年で募集し、活動期間4か月）

本気で事業化を目指すチーム（3チーム（約6名）程度）を選抜する。

選抜方法は、事業化構想と活動計画の2つの書類を事前に提出頂き、書類審査と面接で行う。

活動計画に関しては、事業構想を投資案件レベルに引き上げるための取り組み（例えば、市場検証、事業の核となるデバイス、システムの試作、事業化に向けてのメンバー増強、知財戦略に基づく特許出願など）を自ら立案して頂く。その活動計画に応じて、チームへ活動費やメンター等の支援を行う。期末には、最終報告会を実施し、今後の道筋を確認する。